

事業番号	10 09 09	事業改善シート (26年度実施事業分)				<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州の景観育成支援事業費					担当課	部局	建設部	
							課・室	都市・まちづくり課	
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-2 農山村産業クラスター形成プロジェクト				E-mail	toshi-machi@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	2-1 魅力ある地域の創造と発信 4 次代につなぐ景観育成の推進				実施期間	H4 ~		

1 事業の概要

目指す姿	景観育成住民協定の締結支援、修景事業への補助など、地域住民が景観育成活動の主体となって行動するために必要な支援を行うことにより、地域において住民が協働し、景観の保全や地域特性を活かした景観の創出につながる取組が行われることを目指す。
------	--

現状 (予算編成時)	<input type="checkbox"/> 景観行政団体市町村数:15市町村 (平成24年度末) <input type="checkbox"/> 景観育成住民協定団体数:168団体 (平成24年度末) <input type="checkbox"/> 地域景観協議会参加団体数:282団体 (10地方事務所単位に設置。市町村、関係団体等が参加)
------------	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施: 実施中	景観法及び景観条例に基づき、県は景観行政団体である市町村以外の地域において、景観行政団体として主体的に景観行政を行う必要がある。また、県景観育成計画に基づき、市町村と連携して広域的な景観育成を進める必要がある。

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)					
	景観行政団体市町村数:18市町村 (平成29年度末に20市町村) 修景補助:年1市町村で実施					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H26事業実績		
				H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
		1 景観育成住民協定認定事業	直接	県景観条例に基づく景観育成住民協定の認定	65	0
	2 地域景観協議会運営事業	直接	地域における景観育成課題に係る協議、事業の推進	329	232	329
	3 地域景観整備事業補助金	補助金	景観阻害要因の除去等に対する補助	550	258	150
			合計	944	490	544

事業コスト	区分 (単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	1,099	1,434	944	544
	補正予算	0	0	0	0
	合計(A)	1,099	1,434	944	544
	Aの財源				
	一般財源	1,099	1,434	944	544
	県債	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
決算額(B)	719	651	490		
概算人件費					
職員数(人)	0.70	1.20	1.20	1.20	
概算人件費(C)	5,781	9,910	9,910	9,910	
概算事業費(B(A)+C)	6,500	10,561	10,400	10,454	

成果目標の達成状況					
項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
修景補助対象市町村数	2	1	1	達成	—
景観行政団体市町村数	—	—	—	—	19

目標に対する成果の状況	平成26年度に、1市で行われた修景事業に対して補助を実施しており、目標を達成した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	平成27年度は、阻害要因となっている屋外広告物の撤去費用に対する補助、地域景観協議会の運営など、景観育成事業の効率的な実施を図る。 平成28年度以降も、地域の自律的な景観育成の推進に向け、県民協働の取組みを推進していく。